

JOMF 派遣医師便り (2020.03)



コロナウイルス感染症など

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

JOMF ニュース掲載が諸事情のため今回で最終回となる。2010年4月マニラに赴任以来、当地での生活事情や医療事情を報告させていただいてきた。最終号は明るい話題で締めくくりたかったがそうはいかなくなった。

2020年1月から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界中に拡大し続けている。3月12日にはWHOがパンデミックを宣言した。各国が感染拡大の予防や患者対策に必死に対応している。

フィリピンも同様である。フィリピン保健省によれば2020年3月13日朝現在、フィリピンでのCOVID-19検査件数849件、陽性数52名（内2名死亡）と報告されている。報告患者数は現時点では他国と比べて多くはないとされているが、海外渡航歴のないフィリピン人の国内感染が判明したこと、感染者数増加傾向のためドゥテルテ大統領が「公衆衛生上の緊急事態」を宣言した。学校は休校になり、普段は大きな音楽でにぎわうショッピングセンター内も客数は減少している。マニラ首都圏にcommunity quarantineが発令され、メトロマニラ地域外との出入りが3月15日から制限されると3月12日に発表された。

日本人社会への影響も大きい。マニラ日本人学校では3月13日に卒業式をひかえていたが3月9日から感染拡大予防のため臨時休校になっている。卒業式も来賓の参列を控え、簡素化して行うことになった。例年3月に行う予定であったマニラ日本人会主催の盆踊り大会も中止になった。

当診療所を受診する患者さんたちもこの感染症に対して非常に不安を抱いている。例年であれば3-4月は多くの方が日本へ一時帰国をする時期だが、一時帰国後に日本で過ごすことへの不安、また日本からフィリピンに安心して入国できるかという不安など、医療以外の様々なご質問もいただく。

3月10日付でフィリピン保健省から以下のような指導が出ている；感染国からフィリピンへの入国者で発熱や風邪症状があるものはCOVID-19対応可能な病院を受診して検査の適否を含めて医師の指示に従うこと。フィリピン入国時に発熱や風邪症状が無い者も自宅で2週間健康状態を確認し、この間に症状が出た場合には対応可能な病院を受診し医師の指示に従うこと。

患者さんの中にはこの時期に日本での精密検査を予定していたが予定通りにいかなくなった患者さんもおられる。胸部レントゲン検査異常に対する精査予定だった方、大腸がん疑いに対する精査予定だった方、胃癌疑いのため日本で内視鏡検査を予定していた方、腹部エコー検査で肝臓に腫瘤を指摘され日本で精査予定であった方、心筋梗塞後のフォローのため帰国予定であった方、眼底出血フォローのため受診予定であった方など。日本の病院へ紹介状を書かせていただいた多くの患者さんが日本での受診を延期またはキャンセル

ルして当地においての検査に切り替えなくてはならなくなった。このような患者さんのためにも一日も早く COVID-19 感染患者さんが一日も早く軽快し、ワクチンを含めた有効な治療法が開発されることを望むばかりである。

マニラに赴任して 10 年になろうとしている。この機会を与えてくださり、いつも適切なアドバイスや最良のバックアップをしていただいている JOMF 海外邦人医療基金のスタッフの方々にお礼を申し上げます。吉田雅史専務理事、安保さん、玉木さん、澤田さん、岡部さん、歴代の専務理事や担当者様、関係各社担当者の皆さま方、本当にありがとうございます。

日常診療においては言うまでもなく、当地マニラでの生活面での適切なアドバイスやご支援をいただいている大竹事務局長はじめマニラ日本人会・マニラ日本人会附属診療所スタッフの皆さま方にも心より感謝いたします。

マニラ赴任後の 2011 年東北地方を中心に起こった大地震・原発の放射能漏れ事故、2014 年レイテ島を中心に巨大台風で被災した混乱現場、2018 年 6 月に中国・四国を中心に襲った台風被災現場など多くの災害被災地へマニラからいつも一緒に赴き、災害医療活動を支えてくれ、毎日の体調管理や叱咤激励を与えてくれている妻の敦子に感謝します。

最後に、病気や外傷で闘病、加療されている多くの患者さんの一日も早い回復をお祈りいたします。

これまで支えていただいた皆さま、本当にありがとうございます。

私たちの活動はまだまだ道半ばです。

これからもご指導のほど、どうぞよろしく願いいたします。

マニラ日本人会附属診療所 菊地宏久 2020 年 3 月 13 日記